

方形区法による植生調査

目的

方形区法を用いて植生を調べ、被度や高さから優占種を求める。

- (1) : ある場所に生育している植物の集まり
- (2) : 植生を外から見たときの様相
- (3) : 植生の中で個体数が多く、背丈が高くて葉や枝の広がり大きい種

材料

ひも ものさし クロームブック

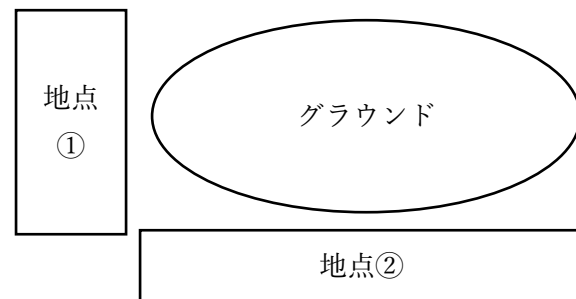
方法

方形区法による植生の調査は地点①、②の2か所で行う

- ①調べる地点に 150cm×100cm のひもを設置する。これを方形枠とする。
- ②方形枠内の植物の撮影および、グーグルレンズを使用し同定を行う。
- ③種別の最高草丈を測定する。種ごとに最も草丈が高い個体の高さを測定し記録する。伸ばしたりはしない。
- ④方形枠内のスケッチを行う。間に合わない場合は後日スケッチができるように、クロームブックで記録を取っておく。(どの植物がどのくらい存在していたかわかるように)

(次回)⑤方形枠内の植物の**※被度**の測定を行う。個人でデータを取り、結果の表に記入する。
グループ内で平均値をとり、表に記入する。

※被度: 方形枠内に出現する植物数が、地表面をカバーしている面積の割合を示す。



結果

地点1

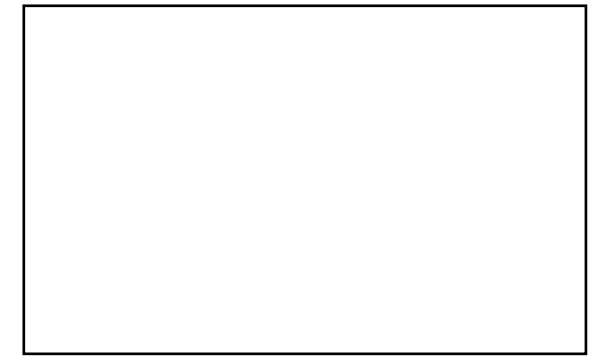
地点2

植物	草丈(cm)	草丈平均	植物	草丈	草丈平均

スケッチ

地点1

地点2



感想

班メンバー;

年 月 日 時間 気温 天気

1年 組 番 氏名